

平成30年5月31日

「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」の導入について

秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、業務の生産性向上を目的に「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」を導入しましたので、お知らせします。

RPAを活用することで生産性向上をはかり、創出した時間や人員を新たな価値創造に充てることで、お客さまへのサービス向上に繋げてまいります。

また、青森銀行（頭取 成田 晋）、岩手銀行（頭取 田口 幸雄）と活用事例等の情報交換を行い、各行で獲得したノウハウを三行で共有することで取組みの高度化をはかります。

記

1 RPAの概要

RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、従来人手で行っていたパソコンの定型業務をソフトウェアロボットが代替することで業務の効率化・自動化をはかる取組みを表す言葉です。

2 導入するRPA

NEC Software Robot Solution
(NECソフトウェアロボットソリューション)

3 対象業務

主に本部で実施しているデータ入力・集計等の定例事務

(以 上)

<RPA導入イメージ>

ロボットを活用してデータ入力・収集
・集計作業等の効率化を図る



データベース



Before



担当者

データ抽出
取りまとめ
表・グラフ作成など
手作業だと煩雑で
時間がかかる



システム化には
コストもかかるため
手作業で対応...

After



ロボット

ロボットを活用して
作業の自動化
煩雑な作業の削減



夜間・休日でも処理
人為的ミスの削減



担当者

単純作業の自動化で
分析に注力！